

環境影響評価方法書の審査書

No.		
事業名		(仮称)八の沢風力発電事業
事業者名		株式会社 斐太工務店
事業実施区域		北海道石狩市八幡町
事業 特 性	事業の内容	風力発電所設置事業 ・風力発電所出力:最大24,000kW ・風力発電機の台数:3,000kW級の風力発電機8基 ・ハブ中心高さ:G. L. +約80m ・ローター直径:約105m程度
	工事の内容	主要な工事として ・土木、基礎工事(12ヶ月) ・風力発電機の運搬・据付工事(10ヶ月) ・電気工事(14ヶ月)
地域 特 性	大気質	事業予定地周辺の一般環境大気測定局としては、南西側約19kmに樽川測定局がある。なお、事業予定地周辺に、自動車排出ガス測定局は設置されていない。二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、環境基準の長期的評価を達成しており、また年平均値も横ばい傾向を示していた。
	騒音・超低周波音	事業予定地周辺では、北海道または石狩市が国道及び道道で面評価方式に基づく自動車交通騒音調査を実施している。石狩市内の平成23年度の調査結果をみると、近接空間では全ての地点で昼間、夜間ともに基準値以下であったが、非近接空間では道道石狩手稲線、道道花畔札幌線の昼間で基準値を超過する戸数が多く見られた。当別町内の平成24年度の調査結果では、近接空間、非近接空間ともに、基準値を超過する戸数がわずかにみられた。
	振動	事業予定地周辺において、振動に係る既存資料はない。
	水質	事業予定地周辺では、北海道又は石狩市が、石狩川の3地点(いずれも補助地点)において、河川水質調査を実施している。調査地点はいずれも環境基準のB類型に該当しており、平成24年度の河川水質の測定結果を環境基準と比較すると、SS及び大腸菌群数で環境基準に適合しない値がみられた。
	地形・地質	事業予定地は石狩市の南部、石狩台地と厚田丘陵の境界部に位置しており、西側から東側に向かうにしたがって標高が高くなっている。石狩台地は、厚田丘陵と石狩低地に囲まれており、北海道においても標式的な段丘地形の1つである。厚田丘陵は、増毛山地の南方に位置し、比高100m以下の小起伏丘陵で、第三紀層よりなる丘陵である。事業予定地周辺では自然景観資源や自然海岸が選定されている。石狩丘陵が活褶曲として選定されており、石狩川や石狩浜が典型地形に選定されている。また、事業予定地及びその周辺には、学術上・希少性の観点から重要な地質は存在しない。
	動物	事業予定地及びその周辺で生息の可能性が考えられる動物は、哺乳類が19種、鳥類が220種、爬虫類が6種、両生類が3種、魚類が34種、底生動物が26種、昆虫類が1,368種。重要な種としては、哺乳類のエゾシマリス、鳥類のエゾライチョウ、コハクチョウ、オシドリ、オジロワシ、昆虫類のゴマシジミの6種があげられる。
植物	事業予定地及びその周辺で生育の可能性が考えられる植物は、683種であった。また植生は、シラカンバーミズナラ林が広がっているが、尾根部には、ササ群落、ススキ群団が多く分布していた。また文献に基づく、重要な種及び重要な植物群落は確認されなかった。	

	生態系	事業予定地及びその周辺は、起伏に富んだ丘陵地であり、尾根から斜面にかけて樹林地が広く分布するほか、ササ群落、ススキ群団、牧草地等の乾性草地や谷戸部周辺には水田雑草群落等の湿性草地在分布する。事業予定地については、樹林地が広がり、尾根部にはまとまってササ群落、ススキ群団等の乾性草地在分布する。これらの環境を反映して、樹林地ではエゾアカネズミ、シジュウカラ等、乾性草地ではエゾユキウサギ、ヒナバタ等、湿性草地ではホンドイタチ、アオサギ等の生息が考えられる。また、高次消費者として、キタキツネ、オオタカ等の猛きん類、フクロウ等が挙げられる。
	景観	事業予定地及びその周辺の主な景観構成要素としては、丘陵部の樹林、低地部に広がる農地や市街地、石狩湾及び海岸、石狩川や当別川等の河川、湿地、砂丘、河畔林等が挙げられる。また、丘陵部には数多くのゴルフ場が整備されている。地域の特徴的な景観資源としては、石狩海岸付近の段丘や海食崖、はまなすの丘公園や聚富地区でみられる海浜植物、石狩川流域の湿原や河畔林、砂丘等がある。
	触れ合いの活動の場	事業予定地及びその周辺の人と自然との触れ合いの活動の場は、東側に八の沢自然林に隣接している。八の沢は、昭和35年まで石油採掘で栄えてきた地域であり、その後はミズナラ等が優占する自然林が発達し、現在は身近な樹林地として存在している。
	廃棄物等	石狩市の一般廃棄物は、焼却施設、破碎施設、最終処分場及びし尿処理施設を有する北石狩衛生センターにおいて処理を行っている。また、資源物(びん・缶・ペットボトル)については、リサイクルプラザで選別、圧縮、梱包し、リサイクルを推進している。石狩市内の産業廃棄物許可処理施設は、焼却炉2施設、その他の中間処理施設25施設、最終処分場(安定型)1施設がある。
	その他 (教育・医療・福祉施設の配置状況、公園指定等環境保全地域区域指定状況、既設風力設置状況等)	事業予定地周辺の最寄りの学校としては、事業予定地の西側約3kmに聚富小中学校が、福祉施設としては、南西側約3kmに特別養護老人ホーム・デイサービスセンター「石狩希久の園」がある。
環境影響評価の項目	参考項目との差異	別紙参照
調査・予測・評価の手法	方法書P. 77～P. 146参照	
住民意見の概要及び事業者見解・関係都道府県知事意見	住民意見の概要及び事業者見解:資料2-1-3参照 関係都道府県知事意見:資料2-1-4参照	
審査結果	環境審査顧問会風力部会の御意見を聞いた上で、対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について必要な意見を記載する。	
備考	本審査書は事業者から届出された環境影響評価方法書を基に作成したものである。	

計画段階配慮事項の選定

環境要素の区分			影響要因の区分		工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用											
			大気環境	水環境	その他の環境	大気質	騒音及び超低周波音	振動	水質	底質	地形及び地質	その他	工事用資材等の搬出入	建設機械の稼働	よる一時的な影響造成等の施工に	の存在	施設の稼働		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として、調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○														
			粉じん等	○	○														
		騒音及び超低周波音	騒音	○	○														○
			超低周波音																○
	水環境	水質	水の濁り						○										
			底質	有害物質															
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質																○
			風車の影																○
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く)																○	
		海域に生息する動物																	○
	植物	重要な種及び重要な群落(海域に生育するものを除く)																	○
		海域に生育する植物																	○
	生態系	地域を特徴づける生態系																	○
																			○
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観																○	
		主要な人と自然との触れ合いの活動の場																	○
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	産業廃棄物																○	
		残土																	○

注) ■ : 改正主務省令の風力発電所に係る参考項目を示す。
 ◎ : 環境影響評価項目として選定した項目(計画段階配慮事項として選定した項目)
 ○ : 環境影響評価項目として選定した項目(計画段階配慮事項として選定していない項目)
 — : 改正主務省令の参考項目であるが、事業計画の内容を踏まえ、本事業による環境影響がない又は環境影響の程度が極めて小さいと判断し、環境影響評価項目として選定しない項目